

平成22年度

宝くじ助成事業

地域の備品整備ができました

自治活動応援課 ☎84-0315

財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金（宝くじ収益金）を活用し、一般コミュニティ助成事業として、250万円の助成を受け、自治会の備品整備を行いました。

◇一般コミュニティ事業
上延沢、田中、牛島、榎本の各自治会では、地上デジタル放送への移行に備えた対応型テレビや自治会館で使用するコピー機、会議用テーブルなど、自治会活動に必要な合計23点の備品を整備することができました。

○田中自治会
液晶テレビ、広報掲示板、阿波踊り衣装、締太鼓



○牛島自治会
コピー機、ワイヤレスメガホン、掃除機、スチールtent



○榎本自治会
液晶テレビ、コピー機



宝くじは 豊かさ築く チカラ持ち。



宝くじは、広く社会に役立てられています。



○上延沢自治会

液晶テレビ、エアコン、プロジェクター、会議用テーブル

平成23年春季全国火災予防運動

3月1日(火)～3月7日(月)

「消したかな」あなたを守る合言葉

(2010年度全国統一標語)

足柄消防組合消防本部予防課 ☎74-6663

毎年3月1日から7日までの間は、春季火災予防運動が全国一斉に行われます。

この運動は、火災の発生を防止し、また、万一発生した場合にも被害を最小限に止め、火災から尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

今の季節は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分注意しましょう。

足柄消防組合管内の平成22年中の火災発生件数は37件（開成町は5件）で、前年と比較すると6件増加しています。そのうち建物火災は、17件とほぼ半数を占めています。建物火災17件中の原因については、コンロによるものが3件と最も多く、風呂かまど、たばこおよび放火（放火の疑いを含む）によるものが続い



ています。

建物火災による死者は、毎年全国各地で約千人を数えています。死因については、逃げ遅れによる一酸化炭素中毒や着衣火が大半の原因であることから、火災を早期発見し被害を最小限に抑えるために、自宅に住宅用火災警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器は平成18年6月以降の新築住宅を除く既存住宅にあつては、平成23年5月31日までの義務設置となりますので早めの設置をお願いします。

住宅防火のちを守る

7つのポイント
3つの習慣・4つの対策

3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・寝具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

関東学院大学学生によるボランティア活動

12月23日（木）の祝日、関東学院大学法学部のサークル「バフター」の学生12人による清掃活動が行われました。

この活動は、町長が昨年関東学院大学法学部で講師として教えた学生たちが、開成町へ地域貢献がしたいという思いから実現したものです。

寒空のなか、開成駅周辺、酒匂川サイクリングコース、水辺スポーツ公園、あしがり郷「瀬戸屋敷」での清掃作業は5時間におよび、カン、ペットボトルなど、ごみ袋7袋分も集まりました。また、瀬戸屋敷では廊下の拭き掃除、竹の運搬作業などを行い、とてもきれいになりました。

今回のことをきっかけに、学生たちはあじさい祭など町の行事にも積極的に参加する予定です。



瀬戸屋敷での清掃作業

やぎさんと会えたよ

産業振興課 ☎84-0317

1月14日（金）開成幼稚園児が「草刈り大好きもぐもぐ隊」と触れ合いました。

「草刈り大好きもぐもぐ隊」の2頭のやぎ「めえめえ」と「みるく」は神奈川県が長野県にある独立行政法人家畜改良センター茨城牧場長野市場から借り受け、やぎの草刈り効果などの調査を行っているものです。もぐもぐ隊の2頭は昨年8月に中井町から

順に足柄上地区1市5町を回り、開成町には1月にやってきました。

きりん組の子どもたちは、やぎが出てくる絵本が大好きです。そんな中、やぎが開成町にきていることを知った幼稚園では、子どもたちが絵本に出てくるやぎと直接ふれ合うことでやさしい思いやりの気持ちをはぐくみたいと思い、やぎを見に行くことにしました。

当日、本物のやぎを間近で見た子どもたちはおおはしゃぎ。最初は恐る恐る近づいていた子どもたちも、なれてくると直接なでてみたり、自宅から持ってきた野菜などのえさを与えたりしてやぎとの触れ合いを楽しんでいました。帰り際には「みるくばいばい」「めえめえばいばい」となごり惜しそうに手を振りながら帰っていきました。

